

複数製品では煩雑になるメール対策を 1台でまとめて対策！ メールリレーサーバとしての活用で コストも大幅削減。



株式会社 大阪国際会議場



大阪府立国際会議場の管理運営を行う指定管理者。大阪府立国際会議場は大阪の都心・中之島に立地する総合交流施設。別名「グランキューブ大阪」。各種会議、コンサート、展示会等、国境や世代を超えて多様な利用目的に対応できる豊富な設備を取り揃えている。

所在地
大阪府大阪市北区中之島5丁目3-51

URL
<https://www.gco.co.jp/>



！ 導入前の 課題

添付ファイルの自動暗号化などの メールセキュリティ対策を、 メールリレーサーバ更改の機会に行いたい

導入の背景

添付ファイル送信時の自動暗号化など 公共施設としての高度なセキュリティ対策が課題に

「グランキューブ大阪」の愛称で知られ、大阪の国際的な発展の一翼を担う大阪府立国際会議場。黒川紀章氏の設計による地上13階、地下3階の巨大なコミュニケーション空間で、最大2754人を収容できるメインホールをはじめ、2600㎡無柱空間のイベントホールや中小の会議室を多数備えている。

「メインホールには昨年4月、国内で初めて、3万1000ルーメンのプロジェクターを導入しました。超高輝度の機器なので、会場の照明を薄暗くすることなく、鮮明な映像を映し出すことができます。他に2万ルーメンのプロジェクターも2台用意しており、メインホール以外でも、高品位で見やすい映像をご覧いただけます」と管理運営を行う株式会社大阪国際会議場営業部企画課長、松尾浩伸氏は設備の充実ぶりを話す。

とはいえ、ここはかならずしも国際会議専用というわけではない。大阪府民をはじめ、全国の人々に向けて、「開かれた国際会議場」を標榜している。「いろいろな方に多種多様な形でご利用いただいております。朝食や昼食を食べながらのセミナーやイベントの後でパーティを開くなど、朝から晩まで続けてご利用いただくことも可能です。料金も様々で、3時間8000円台からご利用いただける部屋もございます」と営業部企画課、木戸佑有子氏が説明する。

国際会議の他に企業の会議、コンサート、展示会などで、年間1600件程度の利用があるという。顧客とのやり取りは、空き状況の確認から、見積り、部屋のレイアウト、使用する機材、細かい確認作業まで、ほとんどがメール。国内だけではなく、

もちろん海外の顧客とのメール交換も頻繁に行われる。

こうしたやり取りをするうえで、どうしても発生してしまうのが、迷惑メールや標的型攻撃メールなどが送られてくるリスクだ。最近ではこれらのメールもどんどん進化を続けていて、特に添付ファイル付きのものが非常に増えてきたという。膨大な数のメールを扱う同社としては、ますます的確な対応が求められてくる。

加えて、添付ファイルを送信する際、セキュリティ対策として、自動で暗号化することも、差し迫った大きな課題となっていた。「もしどこかに間違っただけでメールを送信し、そのまま開かれてしまった場合、お客様情報が流出してしまうかもしれません。我々は大阪府の建物の指定管理者なので、個人情報も絶対に守る責務があります。じつは以前、ある公共施設のホームページが標的になったことがあります。そうしたことのないように、万全を期した対策を取らなければいけません」と松尾氏は力を込める。



営業部
企画課長
松尾 浩伸氏



営業部
企画課
木戸 佑有子氏

選定・導入

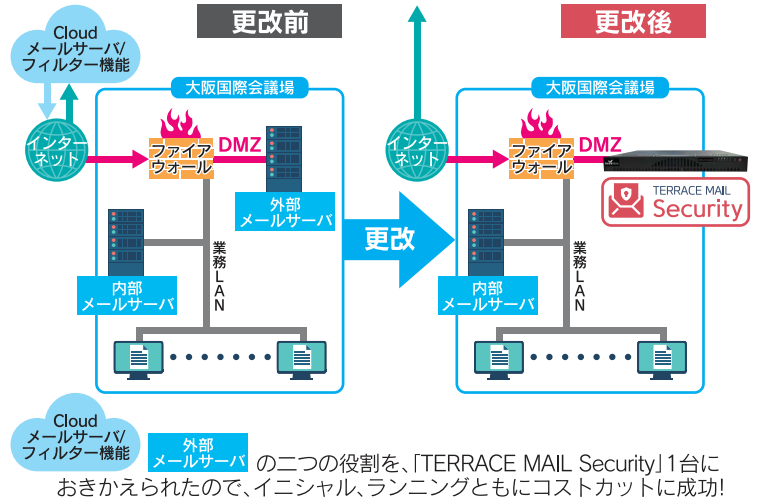
サーバ更改とメールセキュリティ対策を
オールインワンのアプライアンスで一度に解決

「ちょうど、外部メールサーバを更改しなければならぬタイミングだったので、メール業務のセキュリティ対策を含めて、NTT西日本さんに打診しました」と松尾氏は当時を振り返る。

NTT西日本から提案されたのが、ダウジャパン社のメールセキュリティアプライアンス「TERRACE MAIL Security」の導入だ。そのオールインワン機能は、まさに要望を満たすものだった。メリットの1つは、SPAMフィルタリングセキュリティ機能に加えて、メールサーバの役割も持っていることだ。このため、メールサーバを別途用意しなくても済む。

「コストの面でも納得しました。サーバ代とフィルター代などを考えると、かなり抑えられた価格で導入することができました」と松尾氏は語る。

設置作業はNTT西日本の提案支援も行った株式会社アンペールが担当。何度か検証を重ねて課題はすべて修正し、1カ月ほどで機器のチューニングを完了し、安定稼働できるようになった。



導入効果

導入・ランニング費用を大幅に削減！
外部へのセキュリティ面での信頼性のアピールにも貢献

「TERRACE MAIL Security」導入後の変化を松尾氏は次のように語る。

「パスワードを相手に通知する工程にも、すぐに慣れていきました。それに何よりも、お客様に暗号化して送信するようになったことが伝わるため、弊社への信頼性がより高まっているのではないかと思います。また、個人情報や機密情報を扱う際も、安全性をしっかりと確保できるので、内部的な事務処理の業務においても、非常に厳密な管理が可能になりました」

迷惑メールのパーフェクトな仕分けについても、大いに満足しているとのこと。「私は入社以来、20年近く、同じメールアドレスを使っています。この過程で、迷惑メールの発信元にアドレスを収集されたんでしょね。いかにも危なそうなメールが毎日届きます。以前は、ついクリックしてしまうという危険性

もありました。しかし、『TERRACE MAIL Security』の導入後、自動で確実に隔離されるので、安全で効率的に業務が行えるようになりました」と松尾氏は自動仕分けの有益性を語る。

もう1つ、ランニング費用についても大きなメリットを感じているとのこと。以前は他社のASPを契約していたのだが、必要となるウイルス対策や添付ファイル暗号化など、それぞれに別途ライセンス費用がかかっていたという。「合計すると、ランニングコストはかなり高くなっていました。一方、『TERRACE MAIL Security』の場合、これらを一本化できるので、ランニングコストを随分下げられます。加えて、一本化で管理者の負担も軽減できたと思います」と松尾氏の評価は高い。導入後の保守サポートも、株式会社アンペールが担当。様々な技術質問などに対して、迅速な対応を行っている。

今後の展開

段階的なセキュリティ強化も見据えて

いまは「TERRACE MAIL Security」を使い始めて間もない段階。まずは基本的な機能に慣れると共に、セキュリティに対する意識を一層高めていくことが重要と、株式会社大阪国際会議場では考えている。

今後、コストをかけずに、新たな機能を拡張することも可能である。例えば、簡単にプラスできるものが上長承認機能。

添付ファイルを外部に送信する際、上長承認を取るか取らないかについて、簡単に「オン」「オフ」を切り替えられる。

「使っているうちに、必要だと思われる機能があれば、追加することを提案されています。少しずつステップアップしながら、段階的にセキュリティを強化していくことも考えたい」と松尾氏は将来に向けた構想を語る。

お問い合わせ先

株式会社アンペール

本社：〒160-0023
東京都新宿区西新宿7-5-3
斎藤ビル
TEL：03-5330-6802
FAX：03-5330-7027
URL：http://www.ampere.co.jp

お客様の最適なパートナーを目指して、40年以上にわたり、コンピュータ(ハードウェア・ソフトウェア)応用機器、周辺機器装置等の開発、製造、販売に従事。産業機器ソリューション、IT機器ソリューション、デジタル音声ソリューションの分野において、高品質な製品ときめ細かなソリューションを提供し、高い評価をいただいております。



情報機器部
営業グループ
菲澤 正義 氏

開発元



〒105-0013
東京都港区浜松町2-12-11 中村ビル4F
TEL：03-5402-3675
FAX：03-5402-3676
URL：http://www.daou.co.jp